

市民と市長との 対話集会

川上まちづくり推進協議会・川上区長会

かわうえってどんなところ？



(移住者の視点から)

- そこまで不便じゃないのに秘境感。中途半端な田舎じゃない。
- 信号もコンビニもスーパーもない（そこがいい）
- 整然とした、明るい田舎（住民が協力し合って景観を保っている）
- まち協の存在感
- 助け合いの風土（災害があってもなんとかなる）← とても古いけど、ある意味最先端
- 2023年3月に保育園が閉園、市から小学校統合の話が出ていて、先行きが心配

少ない人口だからこそできることもある
キーワードは「一体感」と「川上愛」

川上におけるまち協の存在

問題意識・対応

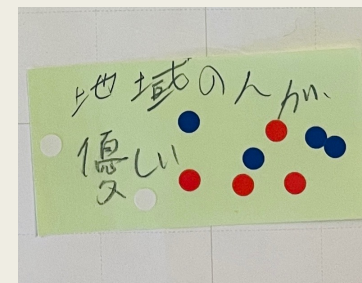
問題意識	対応
「まち協が勝手にやっている」 「何をやっているか知らない」 とされている。 役員を中心とした30~40名が 自分の時間と労力を 削り減らしながら 川上全体のことを考え 一生懸命活動している なぜまち協のはたらきは 評価されていないのか	まち協が何をやったか、やろうとしているかを 広く知ってもらう努力をする (失敗も成功も、過程も結果も) ・ まち協ニュース (不定期、年3~4回、全戸配布) ・ まち協LINE公式アカウント (回覧を見ない人にも届くように。 回覧よりも緊急性の高いまたは短い内容) まち協の「勝手な」考えで動くのではなく、 住民の考えを取り入れる工夫 まずは、住民みんなの意見を広く知る必要あり ・ 「元気な川上にするための座談会」 ・ 「川上暮らしに関するアンケート」

住民の意見を集める活動

令和6年春 住民の意見を集める活動 【第一弾】

川上まち協移住定住促進部会

- 合計のべ125人（川上人口の約5人に一人）の意見を集めた
 - 3月5, 9, 10日「[元気な川上にするための座談会](#)」のべ82人
 - 「川上暮らしに関するアンケート」（2月中旬～4月15日）43人
 - 座談会内容については「川上みんなの意見・アイディア」・「座談会の位置付け、座談会情報の整理」ご参照



令和6年夏 住民の意見を集める活動 【第二弾】

中津川市集落支援員（川上地区担当）

- 第一弾で集められなかった高齢者の意見の収集
- 若い世代が持つ、高齢になった時の漠然とした不安につき、[当の高齢者の実態](#)の把握
 - 7月9日 北部地域包括支援センター、社協地域福祉課からヒアリング実施
 - 川上地区民生委員さんたち経由で高齢者の声の収集（実施中）

川上みんなの想い

川上への愛着

漠然とした不安
(でもどうしたらいいかわから
ない、何もできない)

住み慣れたところ

みんながいる

水も空気もいい
のどかでいい

負担が大きい
(役、草刈りなど)

もうちょっと都会の方が
便利なのかな・・・

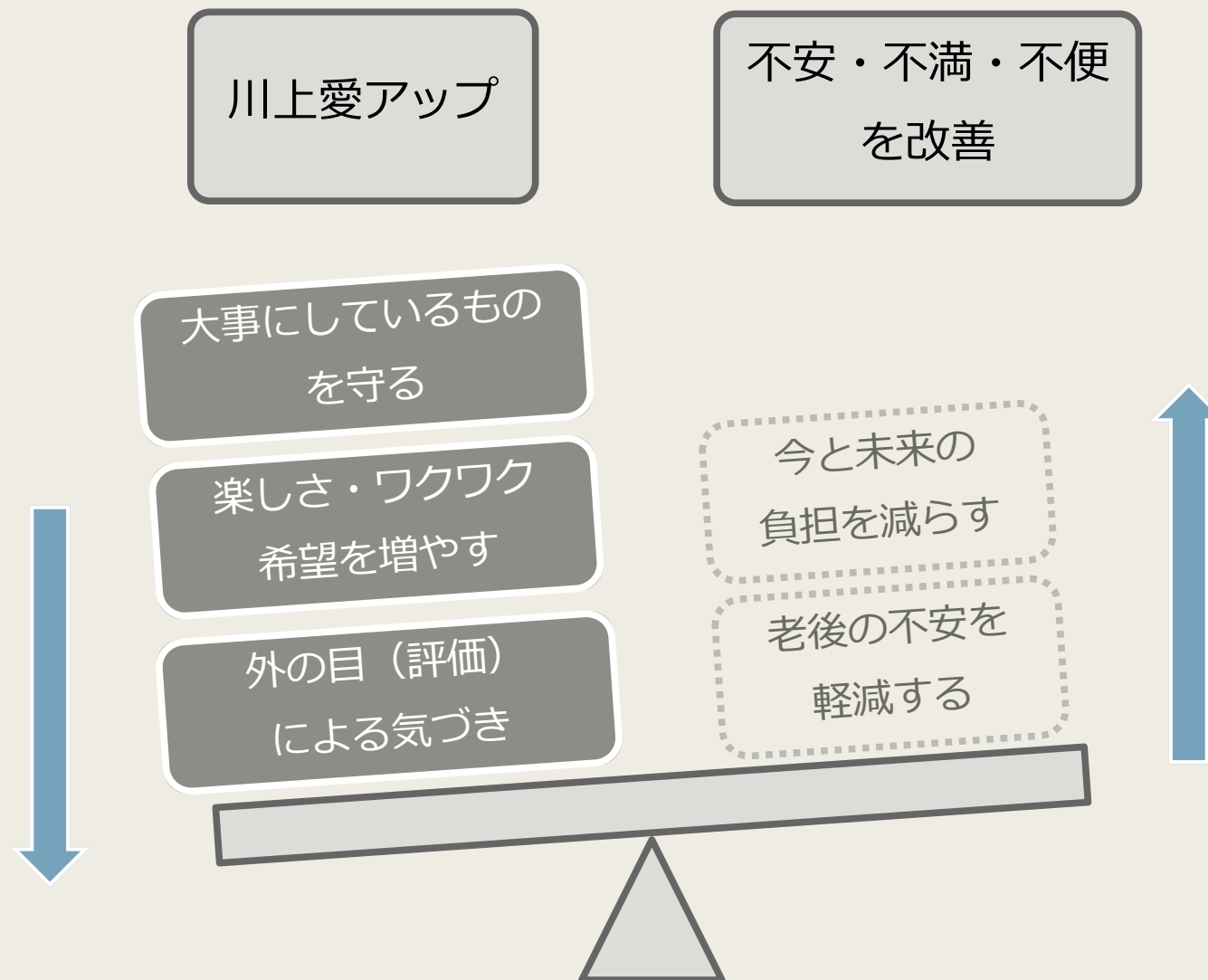
自分の子供たちには田舎
暮らしを強要できない

今後川上は衰退していっ
てしまうのか

不安 ...
でもやっぱり
できる限り川上
に住み続けたい

衰退はイヤだ！
でもどうすれば ...

川上の 今の住民・未来の住民のためにできること



再整理すると...

川上まち協 移住定住促進部会が目指すこと

住み良い元気な川上へ！

川上を、住みたい・住み続けたい地域（環境＋コミュニティ）にする

そのために、大事にしたいこと やっていききたいこと

【基本】あんきに暮らせる川上

- 「住民のための川上」を軸に
- 地域みんなが大事にしている「川上らしさ（環境＋コミュニティ）」を守る
- 発展ありきではなく、心地よい暮らしを大事に
- ほかの地域と均一になることはできるだけしない
- 負担・負荷ができるだけ少なくなるよう工夫する
- 次世代への負荷を意識した意思決定

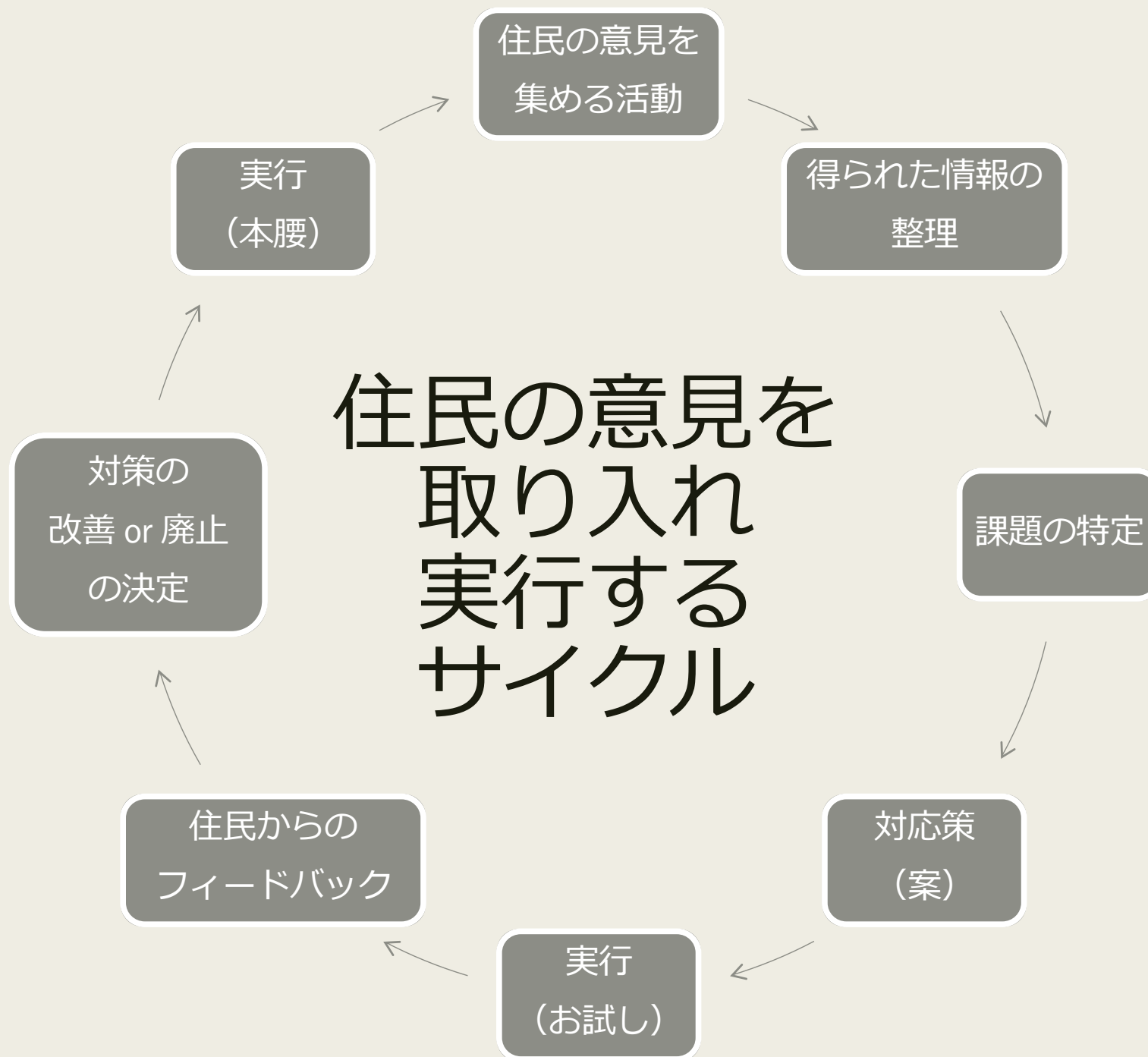
【+α】楽しく過ごせる川上

- 川上愛を拡げる
- 川上でワクワクする取り組み

- 「新しいこと」にかたよらない
- 基本（あんきな暮らし）を大事に
- ブレない軸「住民のための川上」

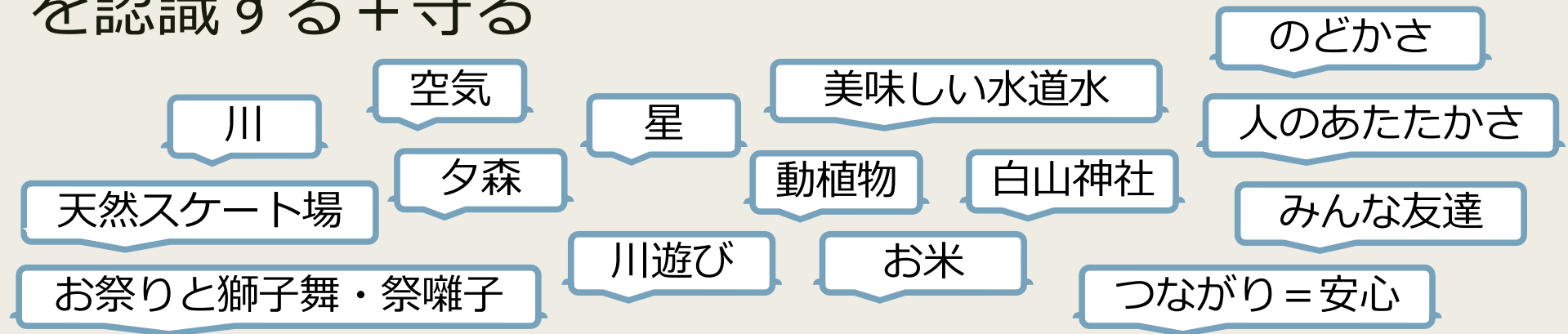
「元気な川上にするための座談会」の位置付け

上記の実現のために、座談会で出てきた意見やアイデアを長期的視野で取り入れる。



あんきに暮らせる川上 ①

特色・いいところ・みんなが誇りに思っているものを認識する＋守る



川上の在り方、普通の暮らし自体が、他地域や開発企業が真似しようと思っても真似できない価値の高いもの。

川上のあり方を守るために部会ができること－川上の価値を評価する人を増やす：

- 住民 - プライスレスな価値を住民が再確認する機会づくり
- 移住者・定住者 - 川上を「いい！」と思って移住してくる人、定住する人を増やす。
- 未来の定住者 - 子どもや若者の川上愛を育てる
- 外の人
 - ありのままの川上で、地域外の人に喜んでもらい、お金を払ってもらえる仕組みづくり(観光は人数・質をコントロール。外部の人に評価されると地域の人にも「川上の在り方」「川上らしさ」を守っていこうという気持ちを維持できる)
 - 川上のすごいところを川上内外の人が知り、広く価値が認められる機会づくり(歴史、自然、人)

あんきに暮らせる川上②

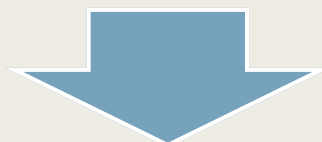
不安・不満・不便の改善

住民の声

役が多い、えらい

住民の声

そろそろ世代交代を



対応策（調査中）

- 人口が減っているのに役は減っておらず住民負担が増大しているため、それを改善すべき
- 合併時に中津川市に合わせて増えた役もあったそうなので、本当に必要なものかどうか、人数が減らせないか等検討。
- 区長会の協力を得て、まずは棚卸しし、本当に必要なものだけに絞る
- その後
 - 役を減らす
 - 内容・負担を減らす
 - 世代交代に向けて緩やかなシフトを開始する

楽しく暮らせる川上 住民意見⇨実行の例（その1）

住民の声

集う機会や場所がほしい

住民の声

気軽に飲食できるところがほしい

対応策・実行（お試し）

- かわうえ 夏のワクワクマンデー
- かたらいの里 夏まつり
- （旧保育園活用 - 実行の例②）

- 社会的なつながりは認知症予防など、健康寿命を伸ばすことに効果的。
- 人が人を助けるセーフティネットワークが自然にできる。

何よりも、
住民が楽しくいきいきとしてられる



楽しく暮らせる川上

住民意見⇒実行の例（その2）

旧保育園 - 可変型の持続可能な施設へ

時代が代わり、需要がなくなり、使われなくなった施設が川上には多数ある。
そのような施設を見てきただけに、中長期的に地域に必要なことが変わっていく可能性
を視野に入れ、旧保育園は以下を目指す：

- 地域の状況や必要性に応じて用途のバランスを変えていけるような持続可能な施設
- かたらいの里等既存の他の施設ではできないことをできる施設（上手な棲み分け）
- 民間運営による、利用者の要望を柔軟に取り入れる利用しやすい施設

「元氣な川上にするための座談会」
で出てきた地域の意見を参考にしつつ、
地域が元氣になるために必要なもの
を整理すると・・・

「5つの場」

働く場：

事業者や団体の
営業・作業拠点

地域住民、
関係・交流人口
の視線

集う場：

地域内外の人
の交流

遊ぶ場：

園庭開放

学ぶ場：

公民館ではできない
学習

楽しみながら
新しいことに挑戦



楽しく暮らせる川上 ワクワクをつくる

【夕森】

- 夕森の指定管理者変更により負担減
- あんきな楽しい暮らし確保のために新規指定管理者に対する働きかけ、協働

【川上ジビエ】

- 京都のワインバー向けに一頭単位での食肉販売
- 湘南のマルシェ向けに犬用鹿肉ジャーキー販売

【みんなのクラブ活動】

老若男女が気軽に教え合い、遊びながら学ぶ生涯学習

(おばあちゃんレシピ、縄ない、歴史、森・川あそび、アウトドアクッキング等)

【負担少なく地域が儲かる観光】

- 川上の暮らしそのものを観光資源として活用
- 観光客 (=お金を払ってくれるボランティア) の力を地域課題解決に活用
- 受入側の負担が少なく、一度に纏まったお金が入るような仕組みづくり
- まち協への収入は「お出かけ支援」「シェアハウス」「夏のかわうえ学校」等に有効活用

まち協活動の収入源として

① 海外から修学旅行生受入

② 田舎好きボランティア受入

【マウンテンバイクパーク】
名古屋の自転車ショップと連携した
大自然型マウンテンバイクパーク

みんなで楽しくいきいきとしていられるように
ワクワクを作る、集う機会を作る！

移住者を増やすために

「はじめまして」「お久しぶり」を増やす
地域と移住希望者の「相互理解」を深める
地域の特色を守る

- ① 地区外の人に川上を知ってもらう機会づくり（「川上」が話題に上がること）
- ② 元住民や住民の親戚とのつながり
 - 個別ではない連絡手段（定期的な一斉配信）の確保（別の公式LINEアカウント）
 - お盆や年末年始のイベント開催（誰でも参加できる大鍋大会、アウトドアクッキング等）
- ③ 移住相談を増やす
 - 市にきた移住相談をもっと川上に回してもらう（ワーサポ担当者との関係作り、情報提供など）
- ④ 市営住宅の有効活用（入居要件の緩和必要）、空き家でシェアハウス（紹介制・仲間同士）
ヒアリングした内容（名古屋在住クリエイティブ系20～30代）
 - 完全に引っ越す「移住」はハードルが高い。週末だけからならとっつきやすい。
 - 「拠点」を増やしたい人は周りに多い。実際増やしている人もいる。
 - 疲れた若者は田舎生活を夢見ているが、忙しいし一歩が踏み出せずにいる。
 - その地域で暮らすことがどういうことかわかってから空き家を買いたい。

まち協が注意すべきこと

暮らしや川上の良さを守ることの方が「発展」よりも大事。

「本質的ではない関係・交流人口」を増やすために
地域の負荷を増やすべきではない。

川上の良さが損なわれるようなオーバーツーリズムにならないよう
細心の注意が必要。

- 本質的ではない関係・交流人口流入のコントロール(量と質)
 - 予約制、ガイド付ツアー等
 - ターゲットを絞ったPR、紹介制
- ASHやROOKIESとも情報共有し、彼らの動きに関する情報収集をしながら働きかけ、協働する必要あり(特にもみじ祭り等イベント運営)